

採択理由

プログラム名：重要政策課題への機動的対応の推進

課題名： 意識の先端的脳科学がもたらす倫理的・社会的・宗教的影響の調査
研究

代表者名： 福山 秀直

所属機関名： 京都大学大学院 医学研究科附属高次脳機能総合研究センター

コメント

本提案は脳科学政策の国際的動向調査、国民の問題意識調査とその分析研究を行う計画である。脳科学者や臨床心理学者など自然科学分野の研究者と倫理学、哲学、社会学、法学などの人文社会科学分野の研究者が協力して実施する体制となっており、問題意識が的確で調査手法も明確である。本取組は時宜にかなない、政策的な必要性は高いと判断された。総合科学技術会議の生命倫理調査会等政府各種審議会における討議のための資料としてまとめて頂きたい。

しかし、対象範囲が広範に思われ着地点が必ずしも明確でないこと、また、医学的側面と倫理的側面をどのように融合させてゆくのが不明瞭であることが懸念される。

本計画の中核的な部分に焦点をあてて絞り込み、研究推進委員会や研究者間のミーティングなど研究遂行に向けた討議の機会を増やすことによって、短期間で効率的に調査研究を進めることが求められる。また、調査研究で得られた成果の報告方法については十分に留意が必要である。神経科学研究の推進に資する調査研究となることが望まれる。